

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
1112		人権教育推進拠点づくり事業	01		一般会計
			10		教育費
38		互いを認め合い、すべての人の人権を尊重する	05		社会教育費
			08		教育集会所費
		教育部 寺田教育集会所	102		教育集会所事業経費
		鈴木 重儀	03		人権教育推進拠点づくり事業
		連絡先 23-8728			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
地域の小・中学生		仲間とともに反差別を実践し、部落差別をはじめあらゆる差別の解消につながる。			
本年度事業内容	1 小学生地区学習会 毎週火曜日午後4時15分から5時 地区の実態と歴史を学び、人権感覚にあふれ、仲間とともに問題を追求する子どもを育てる 2 中学生地区学習会 毎週月曜日午後5時50分～6時50分 地区の実態を学び、部落差別に対する認識を深め、反差別の精神と差別解消への実践力をつける。				
開始年度	平成 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	-

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳(千円)			
事業費(B)	398	605	605
委託料			
旅費	141	174	174
その他	257	431	431
合計(A+B)	1,118	1,325	1,325
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	1,118	1,325	1,325
上記 ~ に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
1 開催回数	回	35	35	35			
2 開催回数	回	35	35	35			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
小学生：地区生17名中16名参加、周辺地区から地区生1名、地区外生32名参加、計49名参加 中学生：地区生9名中5名参加 周辺地区から9名参加 計14名参加	開催回数は、いづれも週1回としたい。地区外の児童・生徒も受け入れていきたい。地区生の参加率を高めたい。	%	80	100	100
			目標 (100)		
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

昭和51年から地区児童の学力保障から実施された。その後、高学年には部落問題学習も実施。昭和55年から中学生にも学力保障と部落問題学習を実施する。小中地区学開始後まもなく地区外児童・生徒も受け入れ共に学ぶ。小学生地区学習会は平成16年度から、中学生地区学習会は17年度から教科学習をとりやめ、人権・同和教育(部落問題学習)を週1回実施。

評価	必要性	4	小中とも地区生より地区外からの参加者が多い。共に学習することから確かな人権感覚が養われ、仲間とともに差別を解消する実践力を身につけさせる。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		